



六郷 ろくごう

六郷小学校

H29. 10. 20

No. 21

秋の味覚を満喫した「なべっこ」

久しぶりに外で行うことができた「なべっこ」、子ども達は大満足でした。何日も前から、「なべっこの日は晴れたらいいなあ。」という声が聞かれました。それだけ子ども達にとっては、「外でやるなべっこ」に対する思い入れがあったようです。

そして、なべっこ当日、前日までの雨模様が嘘のように晴れ渡り、絶好の「なべっこ日より」になったのです。次の日も天候が悪化したことを考えると、正に運動会に次ぐ奇跡でした。子ども達の熱い思いが、今回も空に届きました。



なべっこの醍醐味は、何と云っても薪を燃やす事です。今の子ども達は、木を燃やす経験は本当に少ないと思います。5年生は保呂羽山少年自然の家に行き、野外炊飯を毎年体験します。これはカヌー体験と並ぶ一大イベントです。保呂羽では、薪と新聞紙とマッチで火を起こします。これがなかなか大変です。火がつかないのです。しかし、それがまた子ども達にとっては楽しいのです。何とか工夫して火を起こすことが、子ども達のチャレンジ精神を呼び起こすのです。

六郷小学校のなべっこはどうだったかという、「灯油をしみませたおがくず」という秘密兵器を使用して、いくらかでも困難さを解消させました。時間があればマッチだけで挑戦させたいところですが、時間が限られていますので、そういう方法をとりました。しかし、それでも火が消えるグループがあり、四苦八苦していました。そういった困難を乗り越えながらも、すべてのグループが「いもの子汁」をおいしく完成させました。

5年生、稲刈りを体験！

10月6日（金）、5年生が稲刈りを体験しました。実はこの稲刈りは、4日に予定されていました。しかし、あいにくの雨天で中止となってしまいました。さらに残念なことに、お手伝い下さる方々の都合で4日にできなければ、稲刈りはできないことになっていたのです。（秋休み前なので、刈り取りの時期も逸してしまうため）

学校としては田植えをしたのに、稲刈りができないのは子ども達にとっても残念で仕方ないと感じ、無理なことはわかっていたのですが、再度JAをお願いをしてみました。するとJAの担当者の方がすぐに動いてくださって、お手伝いの方々に連絡をとっていただいて、6日（前期最終日）に実施できることになったのです。





5年生の子ども達は、一生懸命に稲刈りをしました。普段持つこともない鎌を手にして、刈り取る気持ちよさを感じて、どんどん作業は進み、あっという間に残されていた部分の稲刈りが終了しました。子ども達からは「もっと刈りたい。」という声上がるほどでした。JAやお手伝いの方々のご厚意で実施できた稲刈り、本当にやれてよかったと感じました。お米のありがたみについて身をもって感じる事ができ、その体験が必ず今後生きてくると思います。本当に関係の方々に感謝申し上げます。

6年生の新聞教室

読売新聞秋田支局の小坂支局長をお招きして、6年生の新聞教室が行われました。これは、美郷町で6年生全員に、毎週子ども新聞が配布される事業がスタートしたことによります。詳細は、読売新聞に掲載された記事をお読み下さい

